

昔もいまも、就きたい職業ランキング上位の「司書」。そんな司書のお仕事を紹介します。

開館準備

- ・除雪など環境整備
- ・返却ポストの確認
- ・閲覧用新聞整理
- ・書架整理



貸し出し・返却の対応

返却後は、配架前に以下の作業を行います。

- ・本の傷み具合を確認
- ・挟まっているものがないか確認(たまに葉の忘れ物が！)
- ・表紙、背表紙を拭いてきれいにする



本の修理

ページが破れたり綴じ糸が緩んだ本は修理してから配架します。1冊の本を直すには1～2時間かかります。



ブックカバーの装丁(そうてい)

新刊は配架する前に透明なカバーを掛けます。新刊の購入は1年間で2,800冊以上。そのほか各学校図書の新刊にもカバーを掛けています。



展示の企画・入れ替え

2週間から1ヶ月に1回程度、館内各所の展示コーナーを季節や話題に応じて入れ替えます。



レファレンスサービス

本をお探しの際や調べもの際は、司書がお手伝いします。気軽に声を掛けください♪

例えば…
・本のタイトルは分からないけど、〇〇が書いてある本を探している
・カブトムシの飼い方が知りたい
・去年の気象データを調べたい など

書架整理

本棚を常に美しく保つため、背表紙の位置を揃えたり、正しい順番に並び替えます。



リクエスト本の対応

寄せられるリクエストは1年間で500冊以上。購入できない本は管内の公共図書館、道立図書館などから借りて提供します。



学校の読書活動を応援

学校図書館(室)担当者会議

各小中学校の図書室担当教諭と司書による会議を開き、利用状況や課題などを共有して、より良い学校図書室の運営を図っています。

学級文庫の入れ替え

小中学校すべての学級文庫を毎月入れ替えています。その数は、新得小学校だけでも月500冊。

ここで紹介したのは司書の仕事の一部。図書館行事の企画・運営など、ほかにもたくさんの仕事があります。

ブックスタート

町内在住の7ヶ月のお子さんと保護者を対象に、赤ちゃん向けの絵本2冊などを入れた「ブックスタート・バック」を無料で差し上げています。ブックスタートは、肌のぬくもりを感じながら「ことばと心」を通わず、そのかけがえないひとときを「絵本」を介して持つことを応援します。

◆利用者の声(アンケートから)

- ・子どもに最初を与える絵本を自分で選ぶのは、なかなか難しいので、絵本の読み聞かせを始めるとても良いきっかけになります。
- ・「ぴよん」の絵本は、今では自分で見ながら「ぴよん」と言っただけで遊んでいます。
- ・私自身あまり本を読まないのでも、いきつけになり、今も子どもたちは本を好きでよく読んでいます。
- ・子どもがどの絵本に興味を示すかを見てから選ぶことができ、ありがたかったです。絵本も安いものではないので、2冊いただけるのは本当に嬉しかったです。
- ・もらった絵本がお気に入りです、毎日読んでいます。自分では選べないかな、という本なのでいただけ嬉しかったです。



▲8冊の絵本の中から2冊をプレゼント。たくさん読んであげてくださいね。(撮影協力：大澤未奈子さんと結翔くん親子)



▲絵本を選んでもらう前に読み聞かせ。お母さんにそれぞれの本の特徴を紹介しながら、お子さんの反応を見ることもできます。

移動図書館車「かりかち号」

図書館から離れた地域の方々や保育施設、学校、福祉施設などに本を届けています。

昭和54年から運行が始まり、現在のバスは3代目です。



▲トムラウシの山下牧場従業員の方々。仕事に使う実用書や好きな小説をチョイス。リクエストも受け付けており、次回運行時にお届けしています。

巡回希望の地域、施設等がありましたら、図書館までご連絡ください。(コースの都合上、ご希望に沿えない場合もあります)

▼屈足南小学校の児童たち。かりかち号が運ぶ本を毎回楽しみにしてくれています。



菊地司書

利用者の声



国定 宏至さん(トムラウシ)

トムラウシのような遠隔地で生活していると本とふれあう機会が少なかりかち号ですが、その機会をかりかち号が与えてくれています。おかげで、子どもの成長とともにたくさん本と付き合えることができました。司書の方には本を通して、知識はもちろん、社会の話題などの情報も紹介してもらっています。本のリクエストに答えていただけるのもありがたいです。頼まなくても私が読みそうな本を予想して用意してくれるのが嬉しいです。これからも末長くかりかち号の運行が続くことを願っています。